

事務事業名	電源立地地域対策交付金事業	□ 実施計画事業	所属部局	建設部	単位番号	7012									
			所属課室	道路整備課	課長名	入倉隆士									
基本政策	III うるおいと利便性のある都市づくり	□ 実施計画事業	所属担当	維持担当	担当者名	時田一直									
			予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細目					
政策	11 道路網の整備	事業区分	01	一般	0	8	0	2	0	1	0	3	0	0	6
			□ 国の制度による義務的事業	□ 施設等維持管理事業											
施策	18 生活関連道路の整備		□ 県の制度による義務的事業	□ 補助金交付事業											
			□ 市の制度による義務的事業	□ その他の事業											
			□ 義務化されている協議会等の負担金												
事業期間	□ 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 H25 年度)	法令根拠													
事業の内容	期間限定複数年度 ( ~ 年度)	事業費の主な内訳 (22年度)	項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)									
事務事業の概要	安全で快適な道路環境を維持するため、道路維持工事を行う。	維持補修工事	8,056												
					計	8,056									

## 1 現状把握(DO)

## (1) 事務事業の目的と指標

① 活動	22年度活動実績	スノーシェッド改修A=500m <sup>2</sup> 改修A=500m <sup>2</sup>	舗装
	23年度活動予定	舗装改修A=500m <sup>2</sup>	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	道路利用者	・市民	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	安全に通行できるようになる		
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	安全で快適に通行できる		

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア工事箇所数		箇所
イ		
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア人口		人
イ人口		人
ウ		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア工事完了箇所数		箇所
イ		
ウ		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア道路整備に関する住民の満足度		%
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算見込・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円	9,438	7,900	7,098	6,154	6,154	6,154
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	215	156	462	346	346	346
		事業費計 (A)	千円	9,653	8,056	7,560	6,500	6,500	6,500
人件費	正規職員従事人数	人		1	1	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間		100	100	100	100	100	100
	人件費計 (B)	千円		446	446	396	396	396	396
(A)+(B)		千円		10,099	8,502	7,956	6,896	6,896	6,896
活動指標		ア箇所		1.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0
対象指標		ア人		72,692.0	72,692.0	72,833.0	72,900.0	73,000.0	73,100.0
成果指標		ア箇所		5.0	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0
上位成果指標		ア%		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	当地区は、山間部にあり大雪が降ると通行上困難であるため
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	当地区は、山間部にあり大雪が降ると通行上困難であるため
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	当地区は、山間部にあり大雪が降ると通行上困難であるため

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	「取り組みしている」⇒【内容】 <input checked="" type="checkbox"/> 「取り組みしていない」⇒【理由】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	当地区は、山間部にあり大雪が降ると通行上困難であるため舗装の整備
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	当地区は、山間部にあり大雪が降ると通行上困難であるため舗装の整備

事務事業名	電源立地地域対策交付金事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 道路利用者の安全確保を図ることにより目的との整合性が出来る。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 利用者の安全確保が目的であるため妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域住民のうるおいと利便性の向上を目的に進めているので妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 必要最小限の人員と時間において執行しているので余地がない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 快適性、安全性の確保が出来ない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 現時点での実行を行っているので余地がない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 今の状況では人件不足であるため出来ない。
	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 事業の推進につながるので公平、公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	電源立地地域対策交付金事業については長年の懸案であった芦安地域の道路事業を支えてきた事業ではあるが平成23年度については今まで以上に芦安振興を目的に取り組んでいく。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性													
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)													
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果)													
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)													
(2)改革改善案について	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">成 果 水 準</td> <td colspan="3">コスト水準</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	成 果 水 準	コスト水準			削減	維持	増加	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
成 果 水 準	コスト水準													
	削減		維持	増加										
	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>												
(4)改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5)事務事業優先度評価結果													
①	成果優先度評価結果													
②	対象外													
③	コスト削減優先度評価結果													
	対象外													